



ホームページ更新中

エピソード26 「WBC代表から学ぶこと」 ～野球大好き～

校長 若松 剛志

WBCでの侍ジャパンの歓喜からはや4か月過ぎようとしています。試合後の選手のインタビューで、「野球をとおして感動を与えたい」「野球の素晴らしさを伝えたい」というコメントが多くありました。理由が分かりました。



WBCチャンピオンメダル

4月16日にWBC侍ジャパン白井一幸ヘッドコーチの講演会を拝聴する機会に恵まれました。栗山監督の長年の盟友で「かず」がヘッドコーチを受けてくれなければ代表監督は断ると言わせたほどの名コーチです。これまで、企業等での講演が2千を超えるほどの演者です。

代表合宿の初日のミーティングでWBC侍ジャパンの目的を次のように伝えたのだそうです。→「野球をとおして元気・勇気・感動を与える。」

目標よりも目的が大切なのだそうです。目的を達成するために全力でプレーするとおのずと目標は達成されるとのこと。当初、誰も海のものとも山のものともつかない、ヌートバー選手の全力プレーに魅せられ、感動しました。まさに彼が日本代表の目的の体現者だったのです。

そして、戦いの転機はチェコスロバキア戦だったそうです。佐々木投手の160kmの剛速球にかすりもしなかったチェコの選手が、バットに当て始めヒットを打ち出し、それならとフォークを投げると空振りばかりからやがて前に飛ばし始める。160kmのデットボールを食らった選手が一塁へ歩き出し、やがて、一塁からライト方向へ全力疾走してみせる。

日本代表選手は「俺たちが当てられない佐々木投手の160kmやフォークに全員がアマチュアのチェコの選手がヒットを打つ。160kmのデットボールの時は、状況からこれはタンカで運ばれると思っていたが、全力疾走する。」アマチュアのチェコの選手の必死さに気付かされたそうです。「俺たちがしなければならぬプレーはこれだ。」

もう一つ。「何故」の質問は御法度とのこと。

「なぜ、エラーしたの?」「なぜ、三振したの?」

→子ども達の育成に通じるものがあります。これからの生き方に焦点を合わせ、関わっていくことが大切なのだそうです。他責のスタンスから自責のスタンスへ。

→「ああ、私の教え方が悪かったからだね。これからは、こうしていこうか」などと。

→田中ヘッドコーチが日ハムのコーチ時代「翔平、きみはどんな選手になりたいの?」「ぼくは、世界一愛され応援される選手になりたいです。」と答えたそうです。なるほど、ニュースで見る姿ですね。

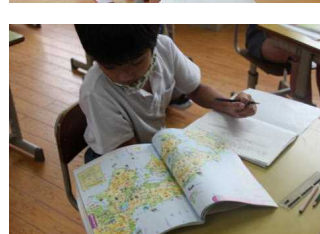
いつも以上に頑張りました。～授業参観～

6月9日(金)

今年度初めての授業参観がありました。1年生にとっては、入学してから初めて保護者に学習している姿を見てもらう機会になります。いつも以上に張り切って授業に取り組んでいる様子が伺えました。



1年生と2年生は国語の授業で学習した内容の劇を披露してくれました。内容をしっかりと覚え、動作もつけながら、大きな声で堂々と発表する姿に保護者の方々も感心していました。



また、他の学年にもたくさんの保護者の方々も参観に来てくださり、普段の授業の様子も少しは伝わったのではないかと思います。



これからも、全員が楽しく学習に励んでくれることを願っています。

1メッセージで伝えよう～全校児童SST～

6月10日(土)

今年度、本校の研修テーマは「自分の気持ちを理解し、思いを伝え、自他を尊重する児童の育成～学校生活におけるSSTの活用を通して～」です。



そこで、全校児童を対象に研修係の浦元教諭がSSTの授業を行いました。今回の授業は自分の気持ちを相手に伝えるスキルとして「1メッセージ」を使って活動を行い、伝え方次第で、相手も自分も気持ちが変わるということを知りました。



普段はよく言い合いをしている子供たちが、交流時にはペアになり「1メッセージ」を使って自分の思いを伝えている様子も見られ、互いに照れながらも嬉しそうに交流している姿が印象的でした。最後の感想には、多くの児童が「これからは、たくさん1メッセージを使いたい。」と書いてくれました。ぜひ1メッセージで自分の思いを伝えてほしいです。(※SSTとはソーシャルスキルトレーニングのことです。)



新聞に掲載されました!～6・7月分～



志布志市立原田小学校
三年 山下 雄太郎
※ 令和五年六月六日
南日本新聞 「子供のうた」に掲載

うんどう会
うんどう会
かけっこ 一位になりたいな
ダンス いきを合わせて
そろえるぞ
大玉ころころ 楽しいな
リレー 赤組かちたいな
みんなでおうえんがんばろう
全力出して ゆうしようだ

新聞掲載



志布志市立原田小学校
三年 高吉 良哉
※ 令和五年七月六日
南日本新聞 「子供のうた」に掲載

雨の音
雨の音
ビシャ ビシャ ザーザー
ふしぎな音だな
水たまりに落ちた
ビシャ
車が通るとザー
いろんな音だな
すごい音だな
おもしろいな ふしぎだな

新聞掲載

8・9月の行事予定

8月	9月
1日(火) 出校日 稲刈り・脱穀(予定)	1日(金) 始業式
11日(金) 山の日 学校閉庁(～15日)	8日(金) 授業参観 学級PTA がんがらちゃん
20日(日) PTA地域合同愛校作業	給食試食会 歯みがき教室(1年)
21日(月) 出校日	9日(土) 土曜授業(平和学習)
	27日(水) 宿泊学習(～28日)
	29日(金) 1・2年生活科見学 宿泊学習休養措置日



たくさん本を読もう～読書集会～

6月13日(火)

6月12日(月)～23日(金)は校内読書旬間で、この期間、図書委員会を中心にいろいろな取組を行いました。

取組の一つに図書委員会による読書集会がありました。お勧めの本からクイズを出し、全員でその答えを考えました。何度も繰り返して言うと思慮なことに答えが……。みんなが笑顔で答えていて、楽しい時間になりました。

この読書旬間の期間は、他にも全校児童・職員による「おすすめの本」の紹介や、目標冊数を決めて、読んだ本を書き込む「読書の木」、読書カードに記録を残していく「ブックウォーク宣言」などもありました。

読書旬間は終わりましたが、これからもたくさんの本に親しんでくれると嬉しいです。



真剣に取り組みました。～避難訓練～

6月14日(水)

地震による津波を想定し、避難訓練を実施しました。

地震が発生したという放送を聞き、机の下に避難した後は、揺れがおさまった放送で、校庭へ避難するという流れになっており、全員が真剣に訓練に取り組みました。また、津波がきたときは、高いところへ逃げるということを覚えてもらうためにも、今回は校外の高い場所へ避難するところまで訓練しました。

原田校区は津波による被害はないかもしれませんが、今後、出かけた先や、将来海の近くに住むようなことがあれば、今回の訓練がきっと役に立つはずです。

そして、津波がきた際には、周りの人たちに大声で知らせることも大切だということも学びました。

他人事ではなく、今後もさまざまな訓練には真剣に取り組み、いつ何が起こっても慌てず行動できるようになってほしいです。



学校からのお知らせとおねがい

《 学校閉庁日のお知らせ 》

8月11日(金)～15日(火)の5日間は、志布志市公立小・中学校閉庁日です。閉庁日設定の目的は、教職員の健康を保持・増進し、心身のリフレッシュを図ることと、総実勤務時間の短縮を図ることで、御理解と御協力をお願いします。

《 夏休みの過ごし方についてのおねがい 》

7月21日(金)から子供たちが待ちにまった夏休みが始まります。夏休みの過ごし方については「よい子の夏休みの生活のしおり」が配布されますので、必ずお子様と一緒に確認をお願いします。

あわせて、この長い夏休み期間にぜひ取り組んでもらいたいことを紹介します。(「志アップ子育て手帳」P.7参照)

- ① **子供の話を聞くことを大切にしましょう。**
※ 子どもの話に興味をもち、共感したり、子どもに考えさせたりしながら、じっくりと話を聞いてあげてください。
- ② **その場で、子どもを褒める会話をしましょう。**
※ その場で具体的にほめたり、そこまでの過程をほめたりすることによって、自信がもてるようになります。
- ③ **会話をしたり、褒めたりする機会をつくりましょう。**
※ まずは何より、会話をすることが大切です。夏休みは子供たちとたくさん話をする機会を作ってください。

実際に見て学びました。～6年生社会科見学～

6月16日(金)

6年生が社会科見学で志布志市役所と埋蔵文化財センターを訪れました。

市役所では、館内の他に議会場の見学も行い、実際の議会の様子も少しだけ見る事ができました。市役所を見学し、いろいろな説明を聞いて、自分たちが安心・安全に生活できているのは、多くの方々のおかげだということ、改めて感じる事ができました。

埋蔵文化財センターでは、遺跡や土器等を見学し、昔の人々のくらしについて学びました。これまで日本の歴史についてさまざまな学習してきた6年生。実物を見て、内容が深まったのではないかと思います。

これからは、さらに社会の学習に興味をもって、意欲的に学習してくれることでしょう。

今回学習したことが今後の学習に生かされることを期待しています。



たくさん採れたよ!～ブルーベリー狩り～

7月6日(木)

今年もスクールガードの峯崎さんの御厚意で、ブルーベリー狩りを体験させていただきました。

1年生にとっては、初めてのブルーベリー狩り体験。一生懸命、ブルーベリーを採っている姿が印象的でした。また、2年生以上はこれまでの経験を生かし、熟した実を見つけては、上手に採って、タッパーに詰めていました。

短い時間でしたが、たくさんのブルーベリーを採ることができて大満足の子供たち。家に帰り、家族みんなで収穫したブルーベリーを美味しくいただいたことでしょう。

毎日、登校時に子供たちを見守ってくれている峯崎さんの心遣いに、心より感謝申し上げます。そして、これからも元氣な原田っ子をよろしく願います!



こんなに泳げるようになりました!～校内水泳大会～

7月7日(金)

7日(金)に校内水泳大会が行われました。昨年度の水泳発表会と少し変更し、泳げる児童に関しては、タイムも計測しました。

全校児童がプールに入り、まずは水に慣れることから始まった水泳大会。みんなでグルグル回る姿は、まるで大きな洗濯機のように見えました。

3年生～6年生までは、25m自由形、50m自由形・平泳ぎ、100mリレーで計測。また、タイムは計りませんでした。1・2年生はワクワクシンクロデビューや11m自由形に挑戦しました。顔を水に浸けるのも怖かった1・2年生。シンクロでは輪くぐりをしたり、ボール拾いをしたりして、見事な演技を披露してくれました。また、泳ぎのほうも、本番では上手に顔を浸け、ビート板を使って泳ぐことができました。

5・6年生の選手が泳ぐときは、低学年・中学年の憧れのまなざしが一気に注がれました。力強い応援と大きな歓声に、選手のみならず、いつも以上に力が入ったようです。

たくさんの保護者の方々が見守る中、水泳学習の成果を存分に発揮することができた子供たち。全員が満足した様子で、校内水泳大会を終えることができました。

